

翔生

(しょうせい)

Symbol Logomark これまで各地商工会議所で使用されている商工会議所マークの下に、ゴシック体でデザインしたシンプルで馴染み易いロゴマークとなっています。ロゴは、商工会議所青年部の英語名 (Young



発行 全国商工会議所青年部連合会
〒100 東京都千代田区丸の内3-2-2
日本商工会議所中小企業振興部内
☎03-3283-7487
編集 広報委員会

平成8年
(1996年)
8月1日号
通巻 第21号
(年2回 3月・8月発行)

Entrepreneurs Group) の頭文字をとったものですが、同時に商工会議所青年部の持つコンセプト (若さ、情熱、広い視野をもった経営者 = Youth, Energy, Generalist) を表しています。

●ごあいさつ●

今年度、商青連筆頭副会長を命ぜられまして埼玉県連・大宮 YEG から出向をさせて頂いております。平成8年度商青連、松田丸も無事に卒業を離れ、スムーズな出発が出来ます。4月から始まりました全国9ブロックの会長会議に乗組員の代表として、松田会長のお供で河井専務共々、全て廻らせて頂きました。改めて全国各地で、各単会で頑張っているメンバーの方々に接し、YEGのエネルギ、商青連の素晴らしさに感動した次第です。私も全力で頑張りますが、皆様の絶大な支援をお願いします。

平成8年度、東地区と第2研修委員会を担当副会長を務めさせて頂きました。第2研修委員会の事業は、青年経済人としての資質向上を図るための、各種研修会を開催致しました。6月18日に、「商青連経営者セミナー」を開催し、全国各地から20名の会員参加を頂きました。2年目を迎える「翔生」も、開きかたしますので宜しくお願いたします。厳しい経済環境の中、地域活性化の各企業の発展のために、会員の皆様の一層の努力を祈念申し上げます。最後に「指導、ご協力を宜しく、お願いいたします。」

商青連の指針の1項目に「行動こそ時代を駆けるべき青年の責務と信じて力を合わせ国の礎となろう」とある。時代の礎と行動の言葉の持つ意味が大きいくロースアップされてきたのではないのでしょうか。昨年度から引き続き商青連では、独自のYEGの連携の構築を模索しています。青年の責務(信じて)にかく行動しなさいと商青連発足の頃より指針として掲げているわけですが、この時代こそ指針の原点を考えてみたいと思えます。この1年ぜひ地域の枠を越えた行動を全国の皆様とともに起こして行きたいと思っております。

私と面識のある方も、多いと存じますが、平成8年度に続き、高知より出向してまいります。宜しくお願申し上げます。平成6年度に引き続き、高知より出向してまいります。平成6年度に引き続き、高知より出向してまいります。平成6年度に引き続き、高知より出向してまいります。

昨年は商青連の特別委員長として連携事業・ビジネス交流プラザを担当させて頂きました。お世話になりました。皆様方にこの場を借りて厚く御礼申し上げます。今年度は、ブロック代表理事や他の役員と一緒に、検討をしながら、ムラをなくして、ムダを省き商青連が各単会や県連のために、より機能的に稼働できるように工夫を重ねてまいります。そのために皆様方のお知恵を拝借しに各県連総会などへお邪魔させて頂いております。その際は、どうぞ宜しくお願い申し上げます。



大村 晴利

平成8年度商青連副会長



笹垣 正弘

平成8年度商青連副会長



古泉 幸一

平成8年度商青連副会長



竹内 豊

平成8年度商青連副会長



河井 達志

平成8年度商青連専務理事

青年部活動のあるべき方向

平成8年度商青連会長 松田 祥吾

全国各地の商工会議所青年部の会員の皆さんにお尋ね致します。貴方は今の商工会議所青年部の活動に100%満足していますか…?

残念ながら殆どの会員が満足しておられないと思いますし、商工会議所の活動すら知らない会員もいるかもしれません。

それは何故か…。それは2つの点がはっきりしていないからです。

1つは、私たちは、「商工会議所活動の一翼を担う」と綱領のなかで唱い上げています。穿った見方かもしれませんが、そのとおりの活動をしている青年部は大変少ないと思います。この半年間、商青連会長として全国各地を訪問させて頂きましたが、このことを強く感じています。

それは、青年部活動の善し悪しではなく、我々の問題として、それぞれの商工会議所の活動内容を充分把握しているかどうか、それ以上に我々の任務である商工会議所の先駆けとしての役割を果たしていないのではないかと思うからです。

私は、青年部は、それぞれの商工会議所の年度方針や地域が抱える諸問題に、もっと明確に発言できるシステムを作ることが必要と思うからであります。そして、地域のイベントや年間行事のたぐい無くてはならないメンバーとしてだけでなく、各地商工業の中期の戦略計画への青年経済人としての責任ある発言と実行力を伴った青年部をアピールすることが必要だと思います。

もう1つは、私たちのYEGは「Young Entrepreneurs Group」の略であります。

このEntrepreneur (起業家) という言葉を世間に広めたのは私たちの先輩かもしれませんが、しかし、私たちはこの起業家という意味を忘れてはなりません。ともすれば我々は各地の商工会議所と太いパイプで結ばれているため、業を起すという事を忘れ、業を守るという行動に走りがちではないでしょうか。

世間の何かのしがらみや既成概念に囚われること無く、本来のEntrepreneur (起業家) 精神を思い起しましょう。

私は、ここにあって提言します。我々各地の商工会議所青年部活動や地域の商店街活動、そして地域の同業者組合活動やおこしをしながらも、現状に埋没されたり、既成概念に囚われること無く、新しく業を起そうではありませんか…。私たちを取り巻く現状のなかには逃れられない現実の結びつきもあるかもしれません。しかし、それを打破するために充分な商工会議所の機能と、地域におけるネットワークを持っているではありませんか。それらに気が付かず、業を守ることにあぐさくしてはならないのです。自ら、何等かの業を起す気概なくして、何のEntrepreneurでしょうか。

以上、感じたことを2点述べてみました。あと5年で新しい世紀になります。中小商工業者はさらに厳しい環境下に置かれることでしょうか。しかし、厳しい中に大きなチャンスが訪れてきています。

その中で青年部活動も時を得て、上記の2点においてその方向性を明確にし、多に青年部活動に満足して下さい。

私の思いをしたためました。本年は、この後各地のブロック大会や全国大会、そして全国会長研修会と皆さんとお会いする機会がありますが、私の意図する「商工会議所の一翼を担い」、「若き起業家を目指す」人々の集まりであることを念願しております。そして、是非会員同士がそれらの機会を活かして、新たな「出合い」、新たな「交流」そして新たな「連携」が生まれ、自らの仕事の一助とならんことを心から祈ります。

3月	2月	9年1月	12月	11月	10月	9月	8月	7月	6月	5月	4月	ブロック別役員会議 ブロック大会、全国大会 全国商青連総会	役員会、正副会長会議、委員会等	運営活動
3月14日(水) 役員会 3月15日(木) 役員会 3月16日(金) 役員会 3月17日(土) 役員会 3月18日(日) 役員会 3月19日(月) 役員会 3月20日(火) 役員会 3月21日(水) 役員会 3月22日(木) 役員会 3月23日(金) 役員会 3月24日(土) 役員会 3月25日(日) 役員会 3月26日(月) 役員会 3月27日(火) 役員会 3月28日(水) 役員会 3月29日(木) 役員会 3月30日(金) 役員会 3月31日(土) 役員会	2月1日(水) 役員会 2月2日(木) 役員会 2月3日(金) 役員会 2月4日(土) 役員会 2月5日(日) 役員会 2月6日(月) 役員会 2月7日(火) 役員会 2月8日(水) 役員会 2月9日(木) 役員会 2月10日(金) 役員会 2月11日(土) 役員会 2月12日(日) 役員会 2月13日(月) 役員会 2月14日(火) 役員会 2月15日(水) 役員会 2月16日(木) 役員会 2月17日(金) 役員会 2月18日(土) 役員会 2月19日(日) 役員会 2月20日(月) 役員会 2月21日(火) 役員会 2月22日(水) 役員会 2月23日(木) 役員会 2月24日(金) 役員会 2月25日(土) 役員会 2月26日(日) 役員会 2月27日(月) 役員会 2月28日(火) 役員会 2月29日(水) 役員会 2月30日(木) 役員会	1月1日(水) 役員会 1月2日(木) 役員会 1月3日(金) 役員会 1月4日(土) 役員会 1月5日(日) 役員会 1月6日(月) 役員会 1月7日(火) 役員会 1月8日(水) 役員会 1月9日(木) 役員会 1月10日(金) 役員会 1月11日(土) 役員会 1月12日(日) 役員会 1月13日(月) 役員会 1月14日(火) 役員会 1月15日(水) 役員会 1月16日(木) 役員会 1月17日(金) 役員会 1月18日(土) 役員会 1月19日(日) 役員会 1月20日(月) 役員会 1月21日(火) 役員会 1月22日(水) 役員会 1月23日(木) 役員会 1月24日(金) 役員会 1月25日(土) 役員会 1月26日(日) 役員会 1月27日(月) 役員会 1月28日(火) 役員会 1月29日(水) 役員会 1月30日(木) 役員会 1月31日(金) 役員会	12月1日(水) 役員会 12月2日(木) 役員会 12月3日(金) 役員会 12月4日(土) 役員会 12月5日(日) 役員会 12月6日(月) 役員会 12月7日(火) 役員会 12月8日(水) 役員会 12月9日(木) 役員会 12月10日(金) 役員会 12月11日(土) 役員会 12月12日(日) 役員会 12月13日(月) 役員会 12月14日(火) 役員会 12月15日(水) 役員会 12月16日(木) 役員会 12月17日(金) 役員会 12月18日(土) 役員会 12月19日(日) 役員会 12月20日(月) 役員会 12月21日(火) 役員会 12月22日(水) 役員会 12月23日(木) 役員会 12月24日(金) 役員会 12月25日(土) 役員会 12月26日(日) 役員会 12月27日(月) 役員会 12月28日(火) 役員会 12月29日(水) 役員会 12月30日(木) 役員会 12月31日(金) 役員会	11月1日(水) 役員会 11月2日(木) 役員会 11月3日(金) 役員会 11月4日(土) 役員会 11月5日(日) 役員会 11月6日(月) 役員会 11月7日(火) 役員会 11月8日(水) 役員会 11月9日(木) 役員会 11月10日(金) 役員会 11月11日(土) 役員会 11月12日(日) 役員会 11月13日(月) 役員会 11月14日(火) 役員会 11月15日(水) 役員会 11月16日(木) 役員会 11月17日(金) 役員会 11月18日(土) 役員会 11月19日(日) 役員会 11月20日(月) 役員会 11月21日(火) 役員会 11月22日(水) 役員会 11月23日(木) 役員会 11月24日(金) 役員会 11月25日(土) 役員会 11月26日(日) 役員会 11月27日(月) 役員会 11月28日(火) 役員会 11月29日(水) 役員会 11月30日(木) 役員会 11月31日(金) 役員会	10月1日(水) 役員会 10月2日(木) 役員会 10月3日(金) 役員会 10月4日(土) 役員会 10月5日(日) 役員会 10月6日(月) 役員会 10月7日(火) 役員会 10月8日(水) 役員会 10月9日(木) 役員会 10月10日(金) 役員会 10月11日(土) 役員会 10月12日(日) 役員会 10月13日(月) 役員会 10月14日(火) 役員会 10月15日(水) 役員会 10月16日(木) 役員会 10月17日(金) 役員会 10月18日(土) 役員会 10月19日(日) 役員会 10月20日(月) 役員会 10月21日(火) 役員会 10月22日(水) 役員会 10月23日(木) 役員会 10月24日(金) 役員会 10月25日(土) 役員会 10月26日(日) 役員会 10月27日(月) 役員会 10月28日(火) 役員会 10月29日(水) 役員会 10月30日(木) 役員会 10月31日(金) 役員会	9月1日(水) 役員会 9月2日(木) 役員会 9月3日(金) 役員会 9月4日(土) 役員会 9月5日(日) 役員会 9月6日(月) 役員会 9月7日(火) 役員会 9月8日(水) 役員会 9月9日(木) 役員会 9月10日(金) 役員会 9月11日(土) 役員会 9月12日(日) 役員会 9月13日(月) 役員会 9月14日(火) 役員会 9月15日(水) 役員会 9月16日(木) 役員会 9月17日(金) 役員会 9月18日(土) 役員会 9月19日(日) 役員会 9月20日(月) 役員会 9月21日(火) 役員会 9月22日(水) 役員会 9月23日(木) 役員会 9月24日(金) 役員会 9月25日(土) 役員会 9月26日(日) 役員会 9月27日(月) 役員会 9月28日(火) 役員会 9月29日(水) 役員会 9月30日(木) 役員会 9月31日(金) 役員会	8月1日(水) 役員会 8月2日(木) 役員会 8月3日(金) 役員会 8月4日(土) 役員会 8月5日(日) 役員会 8月6日(月) 役員会 8月7日(火) 役員会 8月8日(水) 役員会 8月9日(木) 役員会 8月10日(金) 役員会 8月11日(土) 役員会 8月12日(日) 役員会 8月13日(月) 役員会 8月14日(火) 役員会 8月15日(水) 役員会 8月16日(木) 役員会 8月17日(金) 役員会 8月18日(土) 役員会 8月19日(日) 役員会 8月20日(月) 役員会 8月21日(火) 役員会 8月22日(水) 役員会 8月23日(木) 役員会 8月24日(金) 役員会 8月25日(土) 役員会 8月26日(日) 役員会 8月27日(月) 役員会 8月28日(火) 役員会 8月29日(水) 役員会 8月30日(木) 役員会 8月31日(金) 役員会	7月1日(水) 役員会 7月2日(木) 役員会 7月3日(金) 役員会 7月4日(土) 役員会 7月5日(日) 役員会 7月6日(月) 役員会 7月7日(火) 役員会 7月8日(水) 役員会 7月9日(木) 役員会 7月10日(金) 役員会 7月11日(土) 役員会 7月12日(日) 役員会 7月13日(月) 役員会 7月14日(火) 役員会 7月15日(水) 役員会 7月16日(木) 役員会 7月17日(金) 役員会 7月18日(土) 役員会 7月19日(日) 役員会 7月20日(月) 役員会 7月21日(火) 役員会 7月22日(水) 役員会 7月23日(木) 役員会 7月24日(金) 役員会 7月25日(土) 役員会 7月26日(日) 役員会 7月27日(月) 役員会 7月28日(火) 役員会 7月29日(水) 役員会 7月30日(木) 役員会 7月31日(金) 役員会	6月1日(水) 役員会 6月2日(木) 役員会 6月3日(金) 役員会 6月4日(土) 役員会 6月5日(日) 役員会 6月6日(月) 役員会 6月7日(火) 役員会 6月8日(水) 役員会 6月9日(木) 役員会 6月10日(金) 役員会 6月11日(土) 役員会 6月12日(日) 役員会 6月13日(月) 役員会 6月14日(火) 役員会 6月15日(水) 役員会 6月16日(木) 役員会 6月17日(金) 役員会 6月18日(土) 役員会 6月19日(日) 役員会 6月20日(月) 役員会 6月21日(火) 役員会 6月22日(水) 役員会 6月23日(木) 役員会 6月24日(金) 役員会 6月25日(土) 役員会 6月26日(日) 役員会 6月27日(月) 役員会 6月28日(火) 役員会 6月29日(水) 役員会 6月30日(木) 役員会 6月31日(金) 役員会	5月1日(水) 役員会 5月2日(木) 役員会 5月3日(金) 役員会 5月4日(土) 役員会 5月5日(日) 役員会 5月6日(月) 役員会 5月7日(火) 役員会 5月8日(水) 役員会 5月9日(木) 役員会 5月10日(金) 役員会 5月11日(土) 役員会 5月12日(日) 役員会 5月13日(月) 役員会 5月14日(火) 役員会 5月15日(水) 役員会 5月16日(木) 役員会 5月17日(金) 役員会 5月18日(土) 役員会 5月19日(日) 役員会 5月20日(月) 役員会 5月21日(火) 役員会 5月22日(水) 役員会 5月23日(木) 役員会 5月24日(金) 役員会 5月25日(土) 役員会 5月26日(日) 役員会 5月27日(月) 役員会 5月28日(火) 役員会 5月29日(水) 役員会 5月30日(木) 役員会 5月31日(金) 役員会	4月1日(水) 役員会 4月2日(木) 役員会 4月3日(金) 役員会 4月4日(土) 役員会 4月5日(日) 役員会 4月6日(月) 役員会 4月7日(火) 役員会 4月8日(水) 役員会 4月9日(木) 役員会 4月10日(金) 役員会 4月11日(土) 役員会 4月12日(日) 役員会 4月13日(月) 役員会 4月14日(火) 役員会 4月15日(水) 役員会 4月16日(木) 役員会 4月17日(金) 役員会 4月18日(土) 役員会 4月19日(日) 役員会 4月20日(月) 役員会 4月21日(火) 役員会 4月22日(水) 役員会 4月23日(木) 役員会 4月24日(金) 役員会 4月25日(土) 役員会 4月26日(日) 役員会 4月27日(月) 役員会 4月28日(火) 役員会 4月29日(水) 役員会 4月30日(木) 役員会 4月31日(金) 役員会			

平成8年度年間スケジュール

人が接点

平成8年度ブロック大会 主管YEGからのPRメッセージ

地域が原点

今、広げようYEG連携!!

全国YEGメンバーの多数のご参加お待ちしております(ブロック外からの参加OK)

いま会津若松は燃えているぞ!!

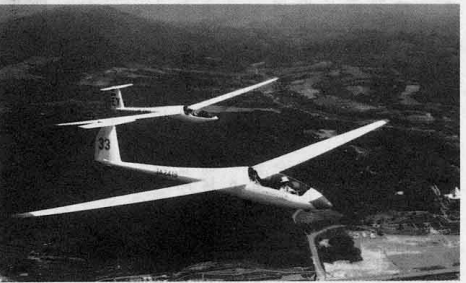


会津若松商工会議所青年部
〒965 会津若松市南千石町6-5
TEL. 0242 (27) 1212 FAX. 0242 (27) 1207

東北ブロック■会津若松大会

平成8年度 全国商工会
議所青年部連合会 北海道
ブロック大会
「人が接点 地域が原点」
今、広げようYEG連携

どさんこ集合! 滝川の地に!!



滝川商工会議所青年部
〒073 滝川市大町1-8-1
TEL. 0125 (22) 4341 FAX. 0125 (23) 5252

北海道ブロック■滝川大会

東北六県各地で活躍して
いる各YEGメンバーの皆
様、そして商連役員を始

め全国のYEGの皆様、こ
んなには、今年度の東北ブ
ロック大会は福島県会津若

松市に於いて開催されます。
当市は古くから多くの藩
公たちによって統治されて
きた会津領の中心地であり、
歴史と伝統の香りがたぎ
文化都市として広く知られ
ています。

会津漆器・会津清酒を始めとする伝統産業や、会津磐梯山・猪苗代湖に代表される観光の基地としての役割、そして全会津28市町村の中心都市としての商業機能が当市の経済を支えています。そして今、高速道路の開通や、コンビニエータテクノロジーの会津大学が、地域に新しいパラダイムをもたらそうとしているのです。会津若松YEGはまさにその中心にあって、次代の地域のあり方を模索し行動しています。

- 日時: 平成8年9月26日(木)
- 式典: 午後1時~午後2時15分
- 分科会: 午後2時30分~4時30分
- 第1分科会(地域国際化) 生誕120周年「国際人野口英世を語る」
- 第2分科会(まちなか活性化) 「まちづくり実践レポート」
- 第3分科会(高度情報化) 「マルチメディア社会と地方都市」

「開催地テーマ」
「新たな時代、行動する勇氣を!!」
私たち商工会議所青年部の役割は、いつい何だろう。混迷の時代、変革の時、歴史の舵はいつの世も熟ある者が取つてきた。私たちは、今立ち上がらなければならぬ。私たちは、自らの地域社会を原動力として、そこに集おう人々の接点を醸成し、YEG連携を通じて新たな時代に向けて、共に行動する勇気を持つ。北海道YEGの皆様、今年滝川の地で再確認をしよう。(プログラム)

- 分科会I
テーマ「次代を創る地域の連携」
- 分科会II
テーマ「インターネットとビジネス」
- (第2部) 記念講演
17時~18時30分
テーマ「コンサドーレ札幌と地域経済」
講師 株式会社石屋産業 代表取締役 石水勲氏
- (第3部) 大懇親会
9月1日(日) 19時~21時
会長会議
8時30分~9時30分
(滝川ホテル三浦華園)
- (第4部) 式典
10時~11時30分
(滝川ホテル三浦華園)
- フエアウエラランチ
12時~13時
(松尾ジギスカン)
- 登録受付15時
(第1部) 分科会
15時30分~16時45分

関東ブロック■伊勢崎大会 素朴な仲間の手作り大会



伊勢崎商工会議所青年部
〒372 伊勢崎市昭和町3919
TEL. 0270 (24) 2211 FAX. 0270 (24) 4362

上州伊勢崎より熱し易く冷め易いが素朴で朴訥な仲間の手作りの大会です。I部は式典で、郷土色豊かなオープニングに始まり厳かななかにも和やかに企画しております。II部は記念講演会で、サンデン(株)代表取締役牛久保雅美氏により「企業国際戦略における交流、連携」をテーマに経験、現在直面している事実を元に講演していただきます。III部は分科会第1「利根川の結ぶ流れは、自由の海へ」で「チャレンジオブ・トネ」といういかだ下りの交流事業とYEG

第16回の北陸信越ブロック大会は、今秋の10月4、5日に富山市と石川県の金沢市との丁度真ん中に位置する、富山県の砺波市で開催されます。

砺波市は人口4万弱の小さな市ですが、教科書に記載されている「散居村」と春には「チューリップフェア」で全国的に有名な市です。また、砺波は4大花祭

砺波市から文化の香りを



砺波商工会議所青年部
〒939-13 砺波市永福町6-28
TEL. 0763 (33) 2109 FAX. 0763 (33) 4422

があり、春のチューリップ・梅雨の葛蒲・夏のカンナ・秋のコスモス、で、アツク太は丁度コスモスの花が見頃となる時期です。現在、砺波YEG・70名は、ブロック大会に向けて着々と準備を進めているところです。「砺波市より文化の香り」北陸信越ブロックのYEGの仲間達に届けよう」をコンセプトに、砺波YEGら

北陸信越ブロック■砺波大会

しさをそそぐ皆で恵を出し合っています。砺波YEGは今年30周年の節目を迎える機会でありこの大会を記念事業の一環として位置づけ、これを機に更なる飛躍をするように、来市される皆さんに砺波市をPRしたい。青年部の活躍を市民の皆さんに理解していただくことと思っています。4日の大会には、午後から砺波市文化会館にて、式典・講演会・パネルディスカッション、場所を移動してニチマ倶楽部にて、懇親会を催す予定にしています。また、5日はエキスカーションを砺波広域圏1万人で計画しているところで

東海ブロック■関大会 おまはん きてくんせー



加 参 加 参
申 込 先 申 込 先
関商工会議所青年部 〒501-52 四日市本町2-1
TEL. 0575 (22) 2268-8 FAX. 0575 (24) 6102

有志により海なし県のあるがれと自由な発想とそしてYEGの歌詞の3つ心を込めた美酒「自由の海」の創造を演劇を交え語りあいます。風応援歌!は製造業、からっ底で悪戦苦闘する主人公と著者による対談パフォーマンスです。第3「サンデン」コンプレッサ工場見学は世界のカーエアコンメーカー

カーの工場見学です。第4「WWV・チャレンジ!!かかあ町」はからっ風が吹き抜ける町がインターネットに挑戦しよう様変わりしようとしていくか、実際に歩いてもらい視察を行います。IV部大懇親会はサンパダンサーで出陣し、ニューハーフショー等で皆さんをこ歓迎致します。多くの参加をお願致します。

今年度、東海ブロック大会を岐阜市の隣街、岐阜県関市にて10月12日(土)に開催させて頂くこととなりました。関市は清流長良川を舞台に千有余年の歴史がある小瀬郷や、古くからの神社仏閣が随所に点在し、国指定の重要な文化財の建物や能衣装などが多数みられます。あたかも小さな奈良といった感じで、小奈良、とも呼ばれています。又、鎌倉時代からの刀鍛冶の地として名刀、関の孫六を産みだしました。現在は、刃物の街として、西のゾーリング・東の関と言われるほど国際的スケールの刃物産地となりました。

大会テーマ「鍛錬・技・匠」は、関鍛冶以来の鍛錬による伝統技術と、先端技術の融合による匠の世界から、今後我々青年部員がそれぞれ目指す方向の糸口として、掲げさせていただきます。記念講演は、日本アイ・ピー・エム株式会社社長 椎名武雄さんをお迎えし、マルチメディアの現在と未来をお話しいただく予定です。又、当日開催されている刃物まつりにも参加していただき、楽しみのある特典も用意しています。来ていただいた方に満足頂ける様関YEGメンバー120名は現在、今年の全国大会は奈良で、東海ブロック大会は小奈良で、を合言葉に総力を上げて準備を進めております。

近畿ブロック■大津大会

大津で大いに語り合おう



加 参 加 参
申 込 先 申 込 先
大津商工会議所青年部 〒520 大津市打出浜1-3
TEL. 0775 (22) 4185 FAX. 0775 (26) 0795

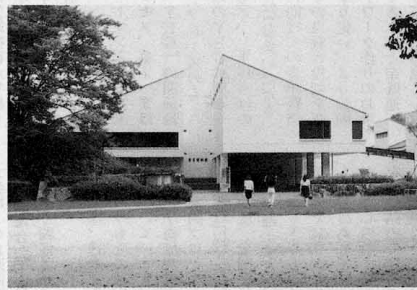
全国YEGメンバーの皆様こんにちは。滋賀県・大津YEGは来たる9月7日(土)に近畿ブロック大会を主催開催致します。本大会は式典・記念事業・

懇親会の3部で構成され、記念事業では、基調講演に国土庁長官房参事官の八幡和郎氏をお迎えし、「21世紀の関西を見つめて」のテーマで国土政策に精通した氏のマクロ視点から地域連携・地域活性化をめぐっての講演を頂き、続いて特別講演として比叡山麓三寶院住職の相木寛昭氏より「経済人(商人)としての哲学(思いやりの心)」のテーマで今度はミクロな視点から経済人としてのマインドについて大いに語りて頂きます。その後パネلディスカッションを開催しブロック内各地YEGより事前にご提供頂いた活動事例調査資料をベースにYEG活動の現状と未来に向けての方向性をみんなで模索

したいと思います。各YEGよりご提供の活動事例より10選を会場内に資料配布・展示し、参加者全員の投票にて賞表彰を行います。大会前日には雄大な琵琶湖に抱かれた当地の豊かな自然を体感して頂ける各種エクササイズもご用意致しておりますので奮ってご参加下さい。大津の地で大いに語り合い、ネットワークを広げてゆきましょう! 多数の皆様のご来津をお待ち致しております。

中国ブロック■倉吉大会

織りなして発信 地域の旬



加 参 加 参
申 込 先 申 込 先
倉吉商工会議所青年部 〒682 倉吉市明治町1037-11
TEL. 0858 (22) 2191 FAX. 0858 (22) 2193

今時都会のスーパーマーケットにはいつでもほしい食材が並んでいる。千葉のザウスでは夏でもスキーができる。インターネットから

ら入手できる情報は、森の香も感じないし、沖繩の砂の熱さも感じない。子どもたちは、ファミコンのバーチャルバトルで本物を味わって

「旬」盛りだくさんの懇親

とで、実り多い大会にすべく会員ははりきっております。みなさまのご参加を心よりお待ちしております。〈主な日程〉

九州ブロック■佐世保大会 ハウステンボスで出会いと交流を



加 参 加 参
申 込 先 申 込 先
佐世保商工会議所青年部 〒857 佐世保市湊町6-10
TEL. 0956 (22) 6121 FAX. 0956 (25) 8616

今年10月18日(金)19日(土)の両日、長崎県の佐世保市におきまして九州ブロック大会を開催致します。佐世保市は、明治時代に鎮守府が創設されて以来、軍港と造船の街として発展してきた佐世保港と、無数の小島が点在する風光明媚な西海国立公園「十九島」の二つの違った顔(海)を持つ異色の街です。又近年では、佐世保市の顔ともなりました大型観光施設ハウステンボスが、当市ハウステンボス町にオープンし、国内はもとより海外からも年間400万人の観光客が来場

したいと思っております。

し脚光を浴びております。九州ブロック大会は、メイン会場をこのハウステンボス内(記念式典/分科会会場)とし、分科会では、「街づくりと連携事業」と題し今泉重敏氏の講演会とハウステンボスの環境保全施設の見学やマルチメディアの研修会等を企画いたしております。

四国ブロック■丸亀大会 起こそう 連携の風を!!



加 参 加 参
申 込 先 申 込 先
丸亀商工会議所青年部 〒763 丸亀市大手町2-1-20
TEL. 0877 (22) 2371 FAX. 0877 (22) 2859

「起こそう 連携の風を! From うちわのまち丸亀」これは、平成8年度四国ブロック丸亀大会の開催地テーマです。当丸亀は、四国は風光明媚な瀬戸内海に面する人口7万8千人の小都市。その中心には、全国でも12城しか現存しない木造天守閣の丸亀城を抱え、また特産の「うちわ」は全国シェアの90%を占める「お城うちわのまち」であります。四国大会です。すでにこの地で13回を数え、現在70名の丸亀YEGメンバーは、熱き思いのもと、一九九とっております。四国四県、また全国のYEGメンバーが、それぞれが

仕事を持つ中、時間を費やしてこの大会に集って来る。「充実した一時と楽しさを!」。我々が大会を運営し考える際の基本理念です。そして主幹地丸亀のメンバー一人一人が何よりも、達成感と満足感を覚えれば、日々の活動の糧となる、そんな丸亀ブロック大会であらねばなりません。分科会では、特産の「うちわ」を題材とした「うちわの実践教室」を始め、四つの分科会を、講演会では、落後家桂文医師の「汗と涙の笑光道」をテーマに、笑いのある経営実践のお話しを。そして、趣向を凝らした懇親会、エキスカイションなどなど、楽しく爽やかな内容を企画しております。9月13日(金)・14日(土)の二日間は、こそつて丸亀へ。そして抜けよう連携を!

また特産の「うちわ」は全国シェアの90%を占める「お城うちわのまち」であります。四国大会です。すでにこの地で13回を数え、現在70名の丸亀YEGメンバーは、熱き思いのもと、一九九とっております。四国四県、また全国のYEGメンバーが、それぞれが

ヒューマンネット で未来にアクセス、集え まほろば！ YEG

第16回全国商工会議所青年部連合会全国大会は11月15日(金)・11月16日(土)に奈良市で開催

開催要綱

1.目的

本大会は、商工会議所活動の一翼を担う全国各地の青年経済人が、交流と研鑽を通じて次代への先導者としての意識高揚を図り、併せて、新しい文化の創造と豊かで住み良い地域づくりに向けた各々の役割と責務について認識を深め、地域経済社会の将来にわたる健全な成長・発展に資する事を目的として開催する。



2.スローガン

「人が接点 地域が原点 今、届けようYEG連携」

3.開催地キャッチフレーズ

「ヒューマンネット で未来にアクセス、集え まほろば！ YEG」

4.主催

全国商工会議所青年部連合会
日本商工会議所

5.主管

奈良県商工会議所青年部連合会

6.後援

通商産業省
奈良県
奈良市
奈良県商工会議所連合会
奈良商工会議所
勤奈良コンベンションビューロー

7.開催日時

平成8年11月15日(金) 9:30~20:30
平成8年11月16日(土) 9:00~13:30

8.大会会場

奈良市中央体育館 奈良市法蓮町1516 電話0742-24-1501(代表)
奈良県新公会堂 奈良市春日野町101 電話0742-27-2630(代表)

9.参加者

商工会議所青年部会員並びに商工会議所役員
商工会議所青年部OB会員

10.登録料

1人 15,000円(懇親会費を含みます)
※OB会員並びに非会員についても同額とさせていただきます。
※懇親会不参加の場合も同額となります。

11.日程

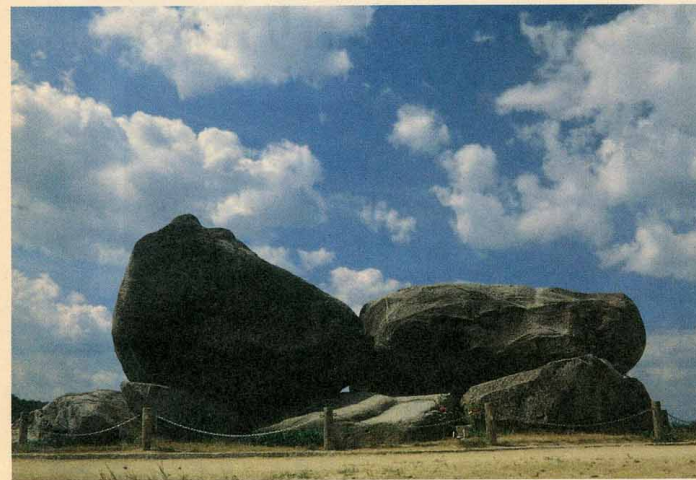
●平成8年11月15日(金曜日)		
商青連諸会議	9:30~12:30	奈良県新公会堂
登録受付	12:00~16:00	東大寺正面入口
〃	16:00~19:00	奈良市鴻ノ池運動公園中央広場
〃	13:30~14:30	奈良県新公会堂
会員総会		
YEGビジネス交流プラザ	13:00~20:30	奈良市鴻ノ池運動公園中央広場
OBサロン	14:00~17:00	奈良県新公会堂
分科会(奈良発見会)		
野点コーナー	13:00~15:00	東大寺大仏殿
①記念講演	15:00~16:30	奈良県新公会堂
②企業見学	14:00~17:00	関西文化学術研究都市
③能・狂言講座	14:45~17:00	奈良県新公会堂
④講話	15:00~16:00	東大寺本坊
大懇親会	18:30~20:00	奈良市中央体育館
●平成8年11月16日(土曜日)		
登録受付	9:00~10:00	奈良市鴻ノ池運動公園中央広場
YEGビジネス交流プラザ	9:00~13:30	奈良市中央第2体育館
YEG全国まちおこし物産展	9:00~13:30	奈良市鴻ノ池運動公園中央広場
記念式典	9:45~10:00	奈良市中央体育館
オープニング(南都楽所)		
YEGインターネット紹介		

- 1.開会宣言
- 2.全国商工会議所青年部連合会旗入場
- 3.国歌斉唱
- 4.「商工会議所青年部の歌」
- 5.商工会議所青年部の「綱領」朗読「指針」唱和
- 6.全国商工会議所青年部連合会長、挨拶
- 7.日本商工会議所会頭、挨拶
- 8.奈良県商工会議所青年部連合会長、挨拶
- 9.奈良県商工会議所連合会長、挨拶
- 10.来賓祝辞
通商産業省
奈良県知事
奈良市長
- 11.来賓紹介
- 12.祝電披露
- 13.日本商工会議所会頭、講話
- 14.主催者紹介
- 15.参加青年部紹介
- 16.次年度全国商工会議所青年部連合会長予定者、挨拶
- 17.次年度開催地発表
- 18.閉会宣言



12.エクスカーション

- 平成8年11月14日(木曜日)
YEG親睦ゴルフコンペ 8:00~16:00 グランデージゴルフ倶楽部
前泊者懇親会・ゴルフコンペ表彰式 18:30~20:15 奈良県新公会堂
- 平成8年11月16日(土曜日) 12:45~ 県内各地
○世界文化遺産を味わう
○飛鳥・高松塚・今井町・橿原神宮めぐり
○西大寺大茶盛式



13.YEGビジネス交流プラザ

日時 平成8年11月15日(金)「13:00~20:30」・16日(土)「9:00~13:30」
場所 奈良市中央第2体育館
出店費 無料

新商品紹介、販売代理店募集などの営業活動や、企業PR活動のできる広場を大会会場に設け、商工会議所青年部の全国的ネットワークを、自社の企業活動にご利用頂けるよう企画致しました。また、今回はインターネットの体験コーナーを含め、全国の商工会議所関連のホームページや、活用事例の紹介も行います。(E-Mail:narayeg@impact-net.co.jp)

14.YEG全国まちおこし物産展

日時 平成8年11月15日(金)「13:00~20:30」・16日(土)「9:00~13:00」
場所 奈良市鴻ノ池運動公園中央広場
(バスの乗降位置から主会場への通路にあたる広場に設置。)

出店費 無料

商工会議所青年部のネットワークを活かし、全国の有名物産の販売、また奈良に集えるYEGメンバーに奈良県を広く知ってもらうように企画致しました。

- 構成 1: 全国物産展
2: 奈良県物産展

- 規模 1: 全国物産展 45ブース
2: 奈良県物産展 20ブース 1ブース(1.8m×3.6m=6.48㎡)

■奈良大会用ホームページをインターネットに開設しました。

<http://www.impact-net.co.jp/narayeg/>

奈良県商工会議所青年部連合会会長

吉本博次

「第16回商工会議所青年部全国大会・奈良大会は、奈良県商工会議所青年部連合会(奈良連)主催のもと、奈良市において開催させていただきます。」
平成8年度「人が接点 地域が原点 今、届けようYEG連携」の商青連スローガンのもと、全国のYEG仲間が「奈良」に集い、新しい出会いと、そして交流・連携へとネットワークをより広げていたという奈良連が一丸となり準備を進めております。
今から二〇〇年前、我が国で初めて国際都市として栄えた「平城京」奈良は、日本文化の発祥地でもあり、世界に誇る国際文化観光都市です。
奈良にも今、新しい風が吹いています。奈良は、日本の先端技術が集結した「関西文化学術研究都市」から、今も最新の情報が世界中に発信されつつあります。
「ヒューマンネット」で未来にアクセス、集え まほろば！ YEG」の開催地、キャッチフレーズのもと、全国各地のYEG仲間が一人でも多く、まほろばの地・奈良に参集したとき、21世紀に向けての青年経済人としての自覚と役割を認識し、より強い、より強固なネットワーク作りのお手伝いができればと奈良連の同心より皆様のお越しをお待ちしております。
11月14・15・16日 大仏様の前でお会いしましょう。

全国大会実行委員長

乾安彦

平成8年度 第16回商工会議所青年部全国大会奈良大会は、奈良県商工会議所青年部連合会主催により、奈良市で開催させていただきます。
奈良は、日本文化発祥の地で、今もその歴史と伝統が息づいています。一方、関西文化学術研究都市として、西文化のプロジェクトも完成を間近に控えています。この度、全国YEGの皆様をお迎えするにあたり、ご用意できるものは、決して華美を競うきらびやかなものではありませんが、何かしらの中に暖かいもの、一工夫を凝らした、けれるものと思っております。
分科会では特に奈良にこだわりました。東大寺管長の講話、きつと聖武天皇建

知との遺産をお楽しみ下さい。他の東大寺大仏殿裏の庭園での野点や十三百年余り

今西泰宏

本年11月に開催されます第16回商工会議所青年部全国大会奈良大会も間近になり奈良連のメンバーも連日準備に走りまわっています。まず、奈良らしい特色をだそうと分科回を奈良発見会と、I 記念講演、II 企業見学、III 能・狂言講座、IV 講話と4つのコースを企画し、さらにII企業見学には4コースを設定しました。YEGビジネス交流プラザにはインターネットを導入し、実際に手で触れながら全国にアクセスして頂けます。懇親会も奈良らしく、かつ一味違うものを企画しています。そして、

研修第一委員会

11月に奈良、2月には岩見沢で熱く燃えよう!!



研修第一委員会委員長 足立善信

当委員会は、商青連が主催する全国大会・全国会長研修会の主催地としてのパイプ役、窓口委員会として設置されています。
当委員会の一層重要な役割は、主催地の円滑な開催準備のため年間スローガン・会長方針・大会目的・主幹地チーム等を念頭に置き適切な指導、助言を行う事だと考えています。
さて、当委員会が担当する最大の事業、平成8年度「第16回商工会議所青年部全国大会」が11月15日(金)16日(土)、万葉のふるさと、日本文化発祥の地として今もその歴史と伝統が息づく奈良県において開催されます。開催要綱も出来上がり既に6月の役員会で御承認頂いて準備も着々と進んでおります。
今大会の主な内容を少し紹介いたします。大きな目玉が3つあります。
第一点目は、記念式典における福業日商会頭の記念講話。更に今回は大懇親会にも出席願ひ会員の皆様と直接交流を深めて頂けることになりました。日本最大の経済団体を率いるトップの福業会頭のナマの声に触れる貴重な機会です。
第二点目は、奈良だからこそ体験できる魅力的な分科会の数々。記念講演、先端技術の特集集めた関西文化学術研究都市の企業見学会、正日の総括で造られた日本一の能舞台における能・狂言講座、東大寺において、守屋管長の講話と庭園でのお茶会、何と普段触れることのない大仏様を、自分の手で触れることが出来るでしょう。正に奈良ならではの分科会です。

研修第二委員会

YEG連携を再認識



研修第二委員会委員長 児玉龍之介

6月18日に行われたYEGセミナーは、当委員会の予想以上の盛り上がりを感じました。
講師の方々が若いメンバーを前にして、熱気を感じられたらしく持ち時間一杯の講演をして頂きました。本年度は竹村健一さんの「天変動の日本」を皮切りに、セミナーが開始されました。
特に同氏のお話の中で興味深かったのは、各地の特性は何か、それを真剣に考え、見つけることが地方活性になると云うことでした。岡山県の話は、参加メンバーには非常に参考になったのではなからうかと思えます。
岡山は中国自動車道と本四道路が交差して、日本海に繋がる日本の中でも立地的に非常に恵まれた土地であり、この三高速道の動脈を生かして、いろんな物流や交流が出来、将来有望な地域であり、これを活用しない手はないということでした。
この指摘は今年度のYEGスローガンである「地域が原点」というYEG活動にも、非常に参考になるのではなからうかと思っております。「新情報化時代への対応」と云う講演をしていただいた、佐々木かをりさんの講話では、具体的な質

問は電子メールの画面で済ませておく、お互いに会った時は、深いレベルでの交流をすることができ、心の交流がうまく出来るという実体験を披露され、情報化時代における人との接点を女性としての観点からソフトに教示して貰ったと理解し、情報化時代になっても人が接点という、今年度のYEGスローガンとも相通するものだと思います。最後に講演された、アサヒビル特別顧問中條高徳さんは、戦後の同社入社後から今日迄、ビルは生が一番面白いという信念を持ち続けたことが今日のスローガン・ドライブを生んだという一点集中主義の哲学を熱く語られ、この成功は、同社内外の技術者と営業部門、又、特約店の連携の賜物と、少しどころか、起業家としての志を持ち止めて、大事だとアドバイスされた事も申し添えておきます。

「商青連特別委員会」物語

商青連特別委員長 鈴木禎夫

序「特別委員会とは？」の巻

商青連の委員会には、今までも、「総務」、「研修第1(企画)」、「研修第2」、「広報」の4つの委員があった。そこに、昨年から「特別委員会」が加えられた。

河井達志(現専務理事)である。初代委員長は「連携」の和を掲げようと、全国各地で委員会を開催し、初代委員長は、とうとう鹿児島から青森まで、高速道路を駆け上って行ってしまったのである。彼のRVは「れんけい」の風を巻き上げ、途中途中で各地YEGの篤き友情と応援を受け、またまた大宮は「山家」の饗宴などを受ながら、只ひたすら走って行ったのである。そのひたすらな姿は「れんけい」官軍とさえ言われ、各地YEGを畏れさせた。「YEGれんけい」の一大キヤンペーンを繰り広げて行ったのである。また、この委員会活動は、A県は東北のスーパーの異名を持つS(賢木)や龍馬の再来とも言われるK県のT(竹内)らにより「地域連携事業」という形に成果を結んだ。

今年の特別委員会は、長崎出身の頭脳派投手M(松田)と、初代K(河井)のバッテリーを「軸」に、あら

れれば、打撃が売りものの攻撃型のチームである。今年はこのようなチームで、「YEG連携事業」を、全国的に少しなりとも促進すべく、チーム内で強烈な議論を繰り広げていった。そこで、今年は①地域連携事業等の「れんけい」事業の事例収集、②インターネット等情報発信メディアの活用事例の収集、③魅力ある、元気のある商店街の事例収集の3本柱を立て、それを分析、統合し、④「連携誌」を作成しようという事になった。

1「地域連携事業」の事例収集について

①「出会い・交流事業」も「連携」だ！ 「地域連携事業」とは、

「開口」を広げ、どんなことでもYEGが他の団体等と行う「出会い」や「交流」等の事業を含む、「れんけい」全般である。人との出会いを大切に、仲間をつくらう。

自然、文化、歴史、風土等の共有を軸にした時、幾つもの「広域的な経済圏、文化圏」(これを「国土軸」と呼ぶ)を全国に形成し、国土のネットワーク化をはかり、効率化と交流促進による経済の活性化を図ろうとする「新全国総合計画」(新全総と呼ぶ)の考え方に基づく活動であり、「地域連携」はゆくゆくは「国土軸」を構成または形成する「単位」や「細胞」となるものと期待されている。

今までのような理解のもと、全国各地で先進的な「地域連携事業」が展開されている。このような活動の事例を収集し、公表することで、連携事業を更に促進することが、今年の委員会の第1の目的である。

但し、「東北Aライン」や「中・四国地域連携事業」といった「地域連携事業」を見るとき、これから「れんけい」に取り組もうとする者にとっては、それは余りにダイナミックで、とりつき難いのではないだろうか。そこで、特別委員会は、「れんけい」とは「生成、発展するもの」であると考えるようにしている。即ち、「出会い」、「交流」、そして「連携する」、これらがそれぞれ立派な「連携事業」と考えよう。

「素敵な出会い」や「意義ある出会いや交流」がいつかは「連携」と発展して行くものなのだ。だから、アンケート収集で扱う「れんけい」は、「地域連携事業」は勿論のこと、これからもう少し

「これは、特別委員会のやるべき仕事でありますが。但し、先進的な「連携事業」に学ぶとき、それはある程度見えてくる。「地域連携」によって得られるものは、今の段階では「これ」という「単」で明確な「成果」は見えてこないが、「連携」することを通して、地域のコミュニケーションが促進され、それが文化の創造やインフラの整備、ベンチャーの形成につながる。そして、それが、地域に生きる我々の生活に結びついていく。

「連携」とは、YEG活動の「目的」達成のための「戦略的手段」ということが出来るのではないだろうか。このように理解すると、「連携」を何故するのか? という疑問が湧く。我々がこの時代において「何をやるべきか」という「目的」を見つけ、その目的を達成するために、皆で考えよう、そして、そのために「出会いたい」、「連携したい」ということになるような気がする。

さて、ここで、YEGが何故「連携事業」なるものに取り組まねばならないかという、最も基本的な問題に触れねばならない。実は、この問題には、明確に答えられるものは今だにない状態なのだ。

「連携」を通して、「目指すものは何なのか」が明らかでないところに、明確さがないと思っている。我々の行動は、「目的」は何かを見定めて行われるのが通常である。今、YEGで提唱している「連携」には、それが示されていない。

「(これは、特別委員会のやるべき仕事でありますが。但し、先進的な「連携事業」に学ぶとき、それはある程度見えてくる。「地域連携」によって得られるものは、今の段階では「これ」という「単」で明確な「成果」は見えてこないが、「連携」することを通して、地域のコミュニケーションが促進され、それが文化の創造やインフラの整備、ベンチャーの形成につながる。そして、それが、地域に生きる我々の生活に結びついていく。そして、その「連携」はいつか、または、同時進行で「地域」や「く」を越え、拡がってゆく。このように考えようと、終わりに6月東京「鉄鋼会館」で行われた「YEGセミナー」の講師の一人である、アサヒビル(株)特別顧問、中條高徳先生の言葉を引用し、この項を終えた。

てくる更に大きな「時代の波」に乗ることにもなる。この大きな波を利用して、未来へ大きなジャンプしようではないかという、野望らしきものが見えかたしてくる。更に、この連携を通して、実に多くの副産物が期待される。その最も大切なものは、新しい、素晴らしい仲間との出会いであり、その出会いは、これからの自分の人生や企業のあり方を変え、充実させてくれるものに違いない。このような「出会い」を求めて、「連携しよう」じゃないか。...というように考えてくれたらいいなど、特別委員会は考えているのであります。

「小生は縁に気づかない、中学生は縁を生かせない、大生は縁に気づき、それを活かす」 「商青連」は「小生連」に終わってはいけないのであります。アサヒビルを飲んだとき、この言葉と「連携」を思い出して頂きました。

「連携(軸)」という「波」に乗ることはこれから興

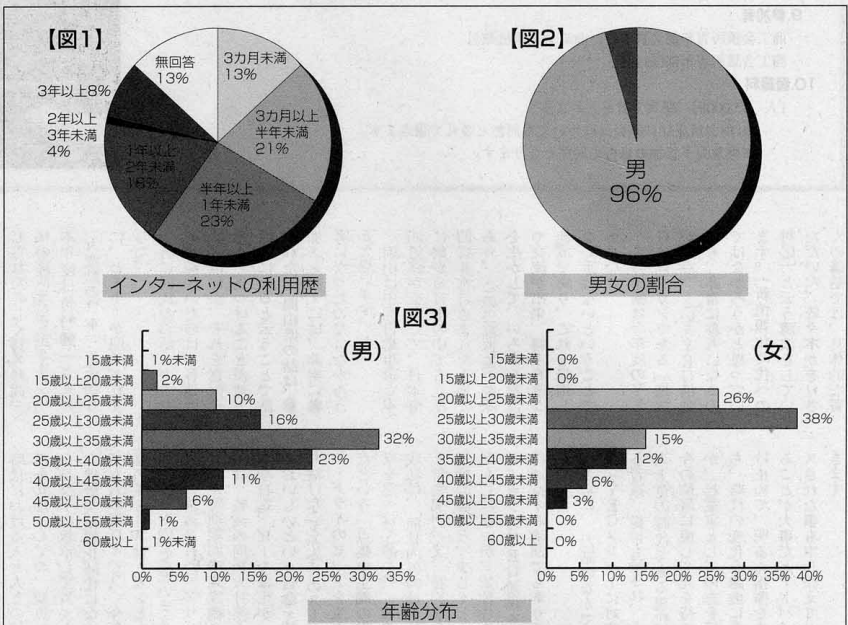
「「出会い」や「交流」がいつかは「連携」と発展して行くものなのだ。だから、アンケート収集で扱う「れんけい」は、「地域連携事業」は勿論のこと、これからもう少し

2「インターネット」の事例収集について

商青連特別委員会 東浦右智

インターネットという言葉は、テレビ・新聞・雑誌等々で避けては通れない程に普及しています。この言葉にYEGの皆様はついてこられますか。日本の戦後50年は、団塊の世代というバブル経済の代名詞のような人々が、カー

ル・ルイスのように駆け抜けていきました。確かに豊かになりましたが、バブルに予想外の経済破壊により新たな時代の訪れを感じています。絶えず時代のリミッターであった青年(アバウト20歳から50歳まで)は、昔若



かったころの自分の勇姿を今でも捨てきれず、追い求めて、復活を目指しオリンピック出場に闘志を燃やしました。が、出場権を得たのは走り幅跳び一種目だけ。長年の技術と経験である程度勝負できたものの、若者の力に屈し、悔し涙を流しました。でも、カル・ルイスは立派です。いづまでもチャレンジャーであり続け、身を持って若者の台頭を知ったのです。その点々YEG青年部員は、カル・ルイスのようなチャレンジャーなものでしょうか。私たちは、新しい物に対する拒絶反応を、特に

外国語であったりコンピュータに強く感じていません。けれどもインターネットには不可欠なのです。インターネットという言葉の歴史はせいぜい3年程度、インターネット利用歴は(図1)50%が1年以内です。現在のユーザー男女比(図2)は圧倒的に男性です。年齢分布の中心は(図3)圧倒的にYEG層です。しかし、ここから問題です。図1は、絶対数が少ないため比較的分野の人が多いと言っています。図2は、潜在の利用層は、通信販売等の利用者であり、時間も自由にそれカルチャー

等的大好きな女性層であるからです。図3はパソコンや電話回線利用料やプロバイダーとの契約等で資金的余裕のある層です。これらのことを考えあわせると、価格的にも扱い方にも身近になってきているので、爆発的に分布図の変化が生じます。

一刻も早く、インターネットに携わる環境を設定することが頭で考えること以上に大切なことと考えます。パラダイムシフト前提の時代、21世紀を高齢者として生きる我々に避けて通ることのない現実を直視しましょう。

3 「魅力ある商店街」の事例収集について

商青連特別委員会 松山茂

現在、商店街の交通体系の高度化は商店街を都市間競争にまで拡大している。その結果、都市における商店街問題は、単なる商業問題ではなく、今では都市活性化問題の主要な部分になりつつある。

まず、商店街の立地特性として、とりわけ重要なのが交通条件の変化で、第一は高速道路網の整備であり、第二にバイパス道路の整備である。これがロードサイド・ビジネスの集積を生み、都市内競争を激化させている。つまり都市商店街は従来、小売業の競争だけでなく商業集積競争といった競争観を必要としていた。もう一つ商店街間競争の激化に伴う問題としてモータリゼーションによる交通体系の変化である。これが進展することで、諸交通問題(道路混雑等)の要因となり得るが、商店街の繁栄に関しては駐車場等の空間的問題ではなく時間的問題であり道路での信号機の少なさや駐車場施設利用のしやすさと思われる。

「都市政策・地域商業計画」

近年、都市計画とその都市地域に於ける商業計画の融合・一体的調を要する事が必要が強く言われている。これに関して困難な問題も多い。というのは、商店街活性化の為に大型小売店との強調が不可欠な場合が多く、中小企業政策的な競争では対応できない問題になってきている。

「都市政策」を通じて商店街間競争の調整を実現することになる。日々商店街が生活基盤として意識されるにつれ、交通手段の確保等の都市施設整備も商店街の活性化にきわめて重要な条件になってきている。そして、都市施設の充実が商店街活性化に於ける重要な条件になればなるほど、商店街活性化計画と都市計画との調整を要する分野がさらに拡大することになる。

4 特別委員会には「公募」委員が活躍している

今年から「商青連」活動の経験が若く、やる気のある人という考えで、特別委員会に、「公募委員制度」が設けられ、各ブロックから、9名の公募委員が選抜され、活躍している。ここでは、公募の制度を理解して頂く参考として、北と南の代表に執筆して頂いた。

松島隆

全国商工会議所青部連合会(商青連)、公募委員として既に3回の会議に出席させていた。

当初は右も左もわからないまま、長崎での第一回目の会議に出席致しましたが、全国の各地から参加したメンバーのパワーと熱意が肌で感じられ、「これはすごい、私も頑張ろう、皆さんのお役に立ちたい」と、まず決意したことを記憶しております。

「地域連携」については、街を活性化するための「魅力」がある、元気のあふれる商店街の事例等を収集し、調査研究をしていく必要がある。各地域の資源、情報、基盤を相互に共有して、不十分なところを互いに補って、「魅力ある、元気のあふれる商店街」をつくること、豊かな郷土づくりにつながる。

野村忠秀

最後にありますが、このような貴重な経験を積ませていただけるのも、公募委員として私を選出していただいた皆広YEG、そして北海道ブロックの皆様のおかげと厚くお礼申し上げます。

本年度より、商青連に公募委員が誕生しました。何分にも出来たばかりですので、毎回協議に議論を重ね、試行錯誤の活動を行っております。「公募委員とはなんぞや?」という質問に対して、「二年間の活動を見ていくください。」とだけお答えしております。

これからの地方づくりのキーワードとして注目されており、それぞれ地域の特性を生かし、足りない部分を補い合って、相互の地域が魅力あるものとして発展していくに貢献していければと思います。

大中国をつぶさに見聞しませんか? YEG有志が「視察旅行」を企画

商青連の役員有志(研修第2メンバーが中心)では、この秋、中国視察旅行を予定しています。この旅行を企画した有志の皆さんは、「この数年12%~15%の経済成長を続ける中国は、21世紀には消費も含めて世界最大の大国になると言われています。そこで、この13億人の人口を擁する大中国をつぶさに見聞することは、経営者としての資質と先見性向上のために必要だと思います。」とその目的を語っています。

この旅行は、商青連の公式事業ではありませんが、同じ志を持つYEGメンバーの参加希望があれば大いに歓迎をするという事です。日程は、本年11月22日(金)~26日(火)、主な視察先は、上海、北京、大連。参加予定者数は、20名程度(ご婦人等の同伴可)、費用は、18万円程度(成田~中国間の旅費一切、但し、空港利用税、査証代金と個人費用は含まれません。)となっています。この視察旅行に関心のある方は、10月31日(日)迄に、有志の1人である秋田YEG副会長の佐々木正光さん(連絡先:(株)エムアンドエム 〒101秋田市大町2-7-34、TEL (0188) 62-9287、FAX (0188) 62-9297)迄、連絡をして下さい。

月刊誌「石垣」への寄稿のお願い

「石垣」での青年部のページ
「石垣」では毎月、企業や地域が直面するテーマをタイムリーに捉え、紹介する。独自の視点から紹介するとともに、ビジネスリーダーである商工会議所関係者の「意見発表の場」としての役割を果していただき、さらに各地商工会議所の活動事例を取り上げ、商工会議所運営のご参考として提供させていただきます。

ご理解を深めて頂くとともに、各青年部間での「情報交換の場」としてもお役立て頂けるよう、より多くの情報の収集に努めているところであり、各地青年部におけるトピックスの活動に関する情報を、下記要領により日本商工会議所広報部までお知らせ下さい。お問い合わせ先は、先般お届きしております「石垣」の定期購読につきましても、ご高配下されるよう併せてお願い申し上げます。

第14回全国会長研修会岩見沢大会

北からテイクオフ!!

いま、北海道が燃えている



「人が接点地域が原点
今、抜けようYEG連携」
のもと岩見沢YEGを中心
として道内各地YEGの仲
間が「次世代の情報社会へ
北からテイクオフ、極寒の
地で熱く集う研修会」を研
修会テーマとして胎動が始
まった。

まず第一会場岩見沢市民
会館に集合しての開会式。
現松田会長、次年度大村会
長予定者から商青連活動の
指針について基調講演を頂
き、各地YEGの一年間の
締めくくりと、次年度へ向
けての活動方針の契機とし
たい。今年度から全国会長
研修会と名称が変わった事
にこだわりつつ企画が進行
している。

記念講演は「高度情報社
会と地域経済」とのテーマ
で地元出身の経営人(内定)
に講演をお願いし、これか
らの情報社会において、そ
れぞれの地域のYEG活動
のきっかけを見つめたい。
分科会は約20ヶ所の温泉
保養地に分散します。そし
て青年部の課題・まちづく
りの課題について、夜を徹
し議論できるような企画をし
たい。またそれぞれの分科
会には道内はもとより全国
で活躍している、同世代の
有識者をアドバイザーとし
て招致し、議論に加わって
頂きます。



翌日はタイヤモンドグス
トの発生を期待し、凍てつ
くシバレを朝の目覚めとし
ます。
二日目は集合は第二会場砂
川オアシスパーク、そこで
分科会の報告と会員総会及
び閉会式が開催されます。
また昼食は北海道名物ジン
ギスカンが堪能できます。
全国のYEGの皆さん
お待ちしています。
北海道の厳しさ、そこ
で活動している「さんご
の暖かみを味わって頂ける
研修会
そこにはきっと熱く燃え
る北海道が見えてくるに違
いない。
開催日
平成9年2月3日(月) 正午
から4日(火) 正午まで
場所
岩見沢市及び周知市町村
札幌雪祭り前夜祭
平成9年2月4日(火)
※雪まつりで混雑しますの
で、お早めのお申し込みを
よろしくお願致します。

横須賀YEG●関東ブロック

復活!!ゴジラの滑り台

ゴジラが初めて日本に上
陸した「多々羅瀨」(横須
賀市鴨居)にかつて建てら
れていたゴジラの滑り台を
復活させようとして横須賀
商工会議所青年部が建設計
画を進めている。
現在、同商工会議所青年

米沢YEG●東北ブロック

山形県商工会議所青年部連合会 会員大会を開催

米沢商工会議所青年部
連合会の会員大会を主催
する5月2日に記念式典、
懇親会など約120名の参加で
行われた。
この大会は、県内7つの
商工会議所青年部が青年経
済人として相互研鑽を重ね
ともに交流・親睦を図るこ
とを目的に毎年持ち回りで
開催しているもの。
今大会は、当連合会の創
立10周年にあたり、その記
念事業として各単会・連合



部の(会長 伊藤 優)の部
員ら51人が「復活!ゴジラ
の滑り台」と題した広報ポ
スターなどを市内の企業に
配布、実現に向け広く市民
にその活動を知ってもらお
うと協力を呼びかけていた。
初代滑り台が作られたのは
一九五八年。海岸にあった
ことから風化が進み、70年
代には取り壊されてしまっ
たが、同青年部は市民の声
を反映し行動に移すことが
出来れば、次代の子供達を
はじめ、多くの市民に当時
体験したあの感動を味わつ
てもらえるはず、と強調。
建設計画は、各官庁の
許可がない限り実現するこ
とが出来ないことから、現
在、市民の支援を求め、イ
ベント等を開催し署名運動
を展開している。
一方、ゴジラの映画を制
作している東宝からは、新
設ではなく復活、しかも
市民運動で建設されるなら
と快く了承。さらに、予想
されるミニチュア模型(写
真も制作してくれたとい
う。
今後も、各関係諸機関に
集めた署名を提出するなど
して活動していく予定とい
う。

山鹿YEG●九州ブロック

熊本県商工会議所青年部連合会 設立総会開催される

去る6月13日に、商青連
の松田会長、河井専務、松
川九州ブロック長、九州の
各県連会長に出席をいただ
き、熊本県商工会議所青年
部連合会が発足した。熊本
県内9商工会議所のうち、
青年部のある7商工会議所
で設立をした。
熊本市のホテルニューオー
タニ熊本で開かれた設立総
会には、約100名の青年部会
員が出席をし、規約や事業
計画などを承認した。役員
人事では、熊本商工会議所
青年部正源司渡相談役を会
長に選び、各単会より16人
の役員を決めた。
事業として、研修などを
通じて後継者の育成や地域
の活性化を進める。また、
初年度は青年部未設置の本
県内外での交流を深める。
総会後、本県出身の国際
政治・軍事評論家の小川和
久氏が「日本の平和と日米
安保」と題して講演した。



「会報コンクール」にご参加を!!

商青連では、全国各地の青年部が発行している広報紙(誌)について、その企画や内容についてコンクールを行い、優秀作品を選奨し、青年部広報活動の一層の向上を資することを目的にコンクールを実施致します。
会報の一層の充実を図るためにも、本コンクールに奮ってご参加くださるようご案内申し上げます。

【商工会議所青年部会報コンクール実施要領】

- 応募規定**
 - コンクール対象作品
商工会議所青年部広報紙(誌)一般(当該商工会議所報等に青年部ページあるいは青年部コーナーを有する場合を含む)
 - 応募方法
応募は1青年部1点(複数応募は不可)とし、郵送によるものとする。応募作品は平成8年1月以降発行のものとし、同じもの2部を送付することとする(その際、年間発行回数に関する記載を添付すること)。
※今年度より県連からの参加も認める。
 - 募集開始
平成8年7月1日(月)
 - 応募締切
平成8年9月30日(月)(当日消印有効)
 - 送付先
〒100 東京都千代田区丸の内3-2-2
日本商工会議所中小企業振興部内
商青連事務局商工会議所青年部「会報コンクール」係
 - 審査発表
審査結果については、商青連事務局より入賞単会事務局に通知し、岩見沢市で開催される第14回全国会長研修会と併せて開催される第26回会員総会の場で表彰します。
- 賞**
優秀作のみ 10点(賞状、記念品)
なお、受賞作品を含め参加作品は会場に掲示します。

